

平成 26 年度季節ハタハタ漁況予報

平成 26 年 11 月 18 日

秋田県水産振興センター

1 成熟度（生殖腺指数）の推移

ハタハタ雌の生殖腺指数（卵巣重量／内臓除去重量×100）が 20 に達した日とハタハタの初漁日との間には正の相関があり、この指数が 20 に達した日が早ければ初漁日も早い傾向が認められる。本年は、生殖腺指数が 20 に達したのは 10 月 18 日と推定された（図 1）。これは記録がある昭和 45 年以降では比較的早い（表 1）。

2 初漁日の推定（初漁日：初セリが行われた日）

生殖腺指数と初漁日との間に回帰直線を当てはめると、初漁日は 11 月 27 日と推定された（図 2）。

3 海況と気象

観測定点（入道崎沖 5 マイル）における 11 月初めの水温観測結果では、表層から水深 300m 層までほぼ平年並みであった（表 2、図 3）。

仙台管区气象台が 11 月 13 日に発表した予報によれば、11 月下旬の東北日本海側の天候は、平年に比べ曇りや雨または雪の日が少なく、気温は平年並みか高い見込みとなっている。これまでのところ水温は順調に低下しているが、今後、静穏な海況が続いた場合には、接岸が予想よりも遅れる可能性がある。

4 魚体組成

10 月までは、オス・メスとも 2 歳が中心に漁獲されていたが、11 月に入り特にオスで 1 歳の割合が高まっている（図 4）。魚体は中型主体であるが、小型もかなり混じると予想される。

ま と め

【初漁日】

成熟度の推移からは 11 月 27 日（±3 日）と推定された。
今後、静穏な海況が続いた場合は、接岸が予想よりも遅れる可能性もある。

【魚体組成】

中型主体であるが、小型もかなり混じる。

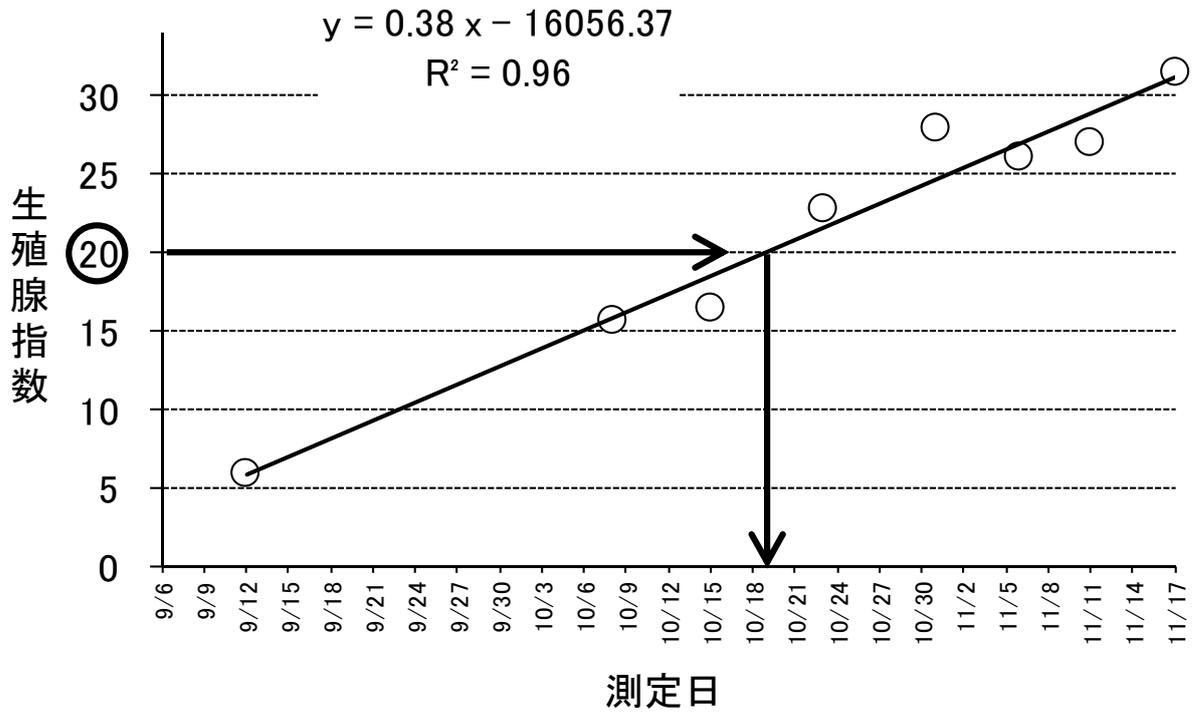


図1 ハタハタ(メス)の生殖腺指数の推移(平成26年9~11月)

【今年の傾向】

回帰直線から、メスの生殖腺指数が20に達した日を10月18日と推定した。

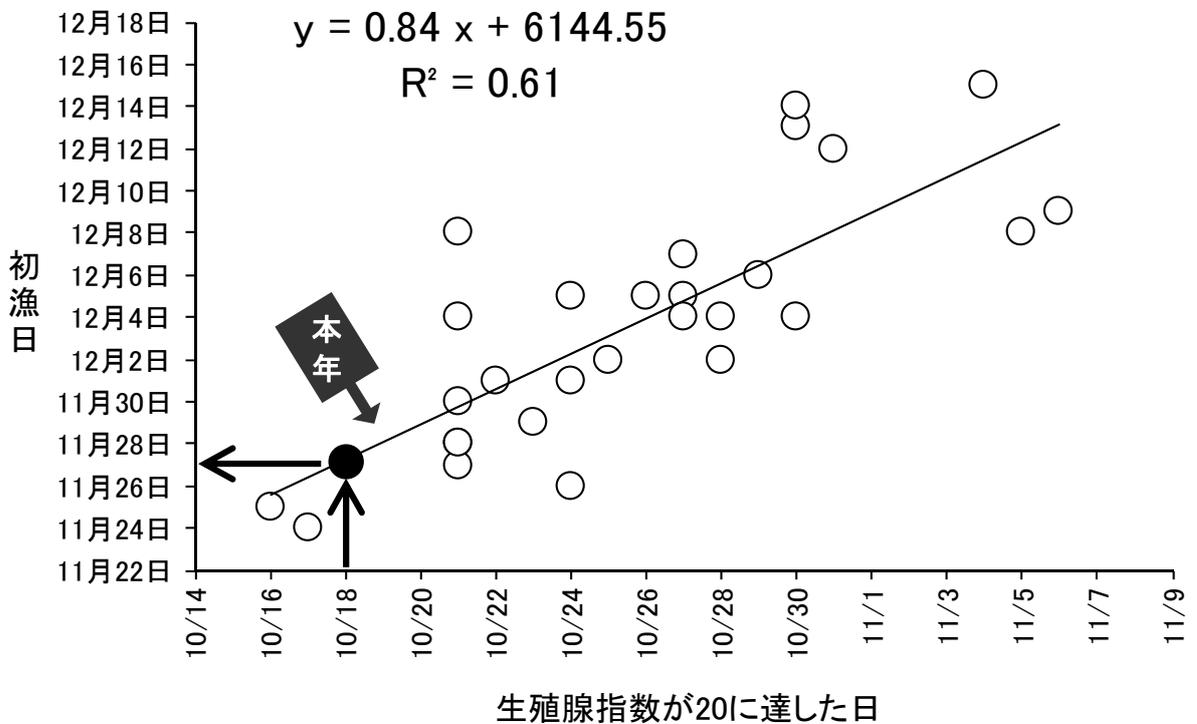


図2 生殖腺指数が 20 に達した日と初漁日との関係(○:S58~H25年)

【今年の傾向】

回帰直線から推定される本年のハタハタ初漁日は、11月27日となった。

表1 ハタハタ(メス)の生殖腺指数が20に達した日と初漁日との関係

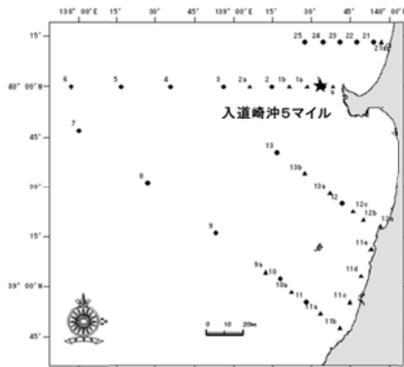
年度	生殖腺指数 ^{※1} が 20に達した日	予想された初漁日	初漁日
昭和45	10月18日		12月2日
46	10月20日		12月1日
47	10月27日		11月23日
48	10月19日		11月25日
49	10月24日		11月23日
50	10月26日		12月1日
51	10月26日		11月28日
52	10月26日		12月15日
53	-		12月4日
54	10月26日		12月17日
55	11月1日		12月2日
56	10月27日		12月11日
57	10月26日		12月15日
58	10月27日	12月7日 ± 5日	12月5日
59	10月30日	12月9日 ± 5日	12月4日
60	10月31日	12月10日 ± 5日	12月12日
61	10月28日	12月5日 ± 5日	12月4日
62	10月24日	12月1日 ± 5日	12月5日
63	10月28日	12月7日 ± 6日	12月2日
平成元	10月30日	12月8日 ± 4日	12月13日
2	10月29日	12月7日 ± 4日	12月6日
3	11月4日	12月12日 ± 4日	12月15日
4 ^{※2}	11月2日	12月12日 ± 3日	12月16日
5 ^{※2}	11月7日	12月17日 ± 3日	12月13日
6 ^{※2}	11月5日	12月15日 ± 3日	12月18日
7	10月21日	12月6日 ± 3日	12月8日
8	11月6日	12月14日 ± 3日	12月9日
9	10月27日	12月6日 ± 5日	12月4日
10	10月27日	12月6日 ± 4日	12月7日
11	10月30日	12月9日 ± 4日	12月14日
12	11月5日	12月16日 ± 5日	12月8日
13	10月26日	12月4日 ± 5日	12月5日
14	10月21日	12月5日 ± 3日	11月28日
15	10月21日	12月1日 ± 2日	11月27日
16	10月23日	12月3日 ± 2日	11月29日
17	10月22日	11月30日 ± 2日	12月1日
18	10月21日	12月1日 ± 3日	12月4日
19	10月24日	12月3日 ± 3日	11月26日
20	10月16日	11月26日 ± 3日	11月25日
21	10月17日	11月27日 ± 3日	11月24日
22	10月24日	12月2日 ± 4日	12月1日
23	10月25日	12月3日 ± 4日	12月2日
24	10月21日	11月29日 ± 3日	11月30日
H25	10月21日	11月29日 ± 3日	11月28日

※1 生殖腺指数＝生殖腺重量／内臓除去重量×100

※2 網掛けは、ハタハタ全面禁漁期間中のモニタリング調査結果。

表2 観測地点での11月上旬の水温

入道崎沖 5マイル(St.1)										
年	0m	10m	20m	30m	50m	75m	100m	150m	200m	300m
H7	19.8	19.8	19.8	19.6	19.6	18.8	14.8	10.5	5.5	1.3
H8	18.5	18.5	18.4	18.5	17.8	15.3	14.4	10.0	5.3	1.7
H9	18.3	18.3	18.3	18.3	18.4	18.6	17.3	12.3	6.2	1.7
H10	19.5	19.6	19.6	19.5	19.4	18.9	17.1	12.4	4.3	1.3
H11	18.7	19.2	19.1	19.2	19.2	19.2	18.0	11.2	5.0	1.4
H12	20.4	20.2	20.2	20.2	20.2	16.4	14.1	8.0	3.1	1.2
H13	17.9	18.6	18.6	18.6	18.6	16.5	13.2	8.9	4.4	1.1
H14	18.0	18.7	18.7	18.7	18.7	18.6	17.4	13.0	8.3	1.7
H15	17.8	18.6	19.0	19.2	19.3	19.3	19.2	13.4	5.9	1.7
H16	18.8	19.2	19.2	19.2	18.3	13.7	11.5	8.3	4.1	1.3
H17	19.0	20.3	20.3	20.3	20.3	17.7	15.2	10.0	5.1	1.5
H18	19.0	18.8	18.8	18.8	18.3	16.0	14.6	8.4	4.2	1.3
H19	19.4	19.8	20.0	20.1	20.1	17.5	15.3	10.9	3.4	1.5
H20	19.8	20.5	20.5	20.5	20.5	17.8	15.2	10.6	5.9	1.6
H21	18.3	18.3	18.3	18.3	18.2	18.1	15.6	10.2	5.3	1.6
H22	18.1	18.6	18.6	18.6	18.3	16.1	13.7	9.3	5.0	1.3
H23	19.8	19.7	19.7	19.6	19.4	17.4	15.4	11.6	6.3	1.4
H24	17.4	18.2	19.1	19.0	18.6	17.8	16.4	11.7	7.5	2.1
H25	19.7	19.7	19.8	19.9	18.7	16.0	12.8	7.5	3.2	1.4
平年値	18.5	18.6	18.7	18.7	18.6	17.9	15.9	10.8	5.7	1.5
H26	18.4	18.5	18.3	18.3	18.2	16.6	15.0	10.5	5.5	1.5
偏差	-6	-7	-49	-60	-57	-107	-60	-14	-9	-5
	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	やや低い	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み



+131~200……かなり高い
 +61~130……やや高い
 ±60以下……平年並み
 -61~130……やや低い
 -131~200……かなり低い
 -200以下……はなはだ低い
 ※平年値は過去30年間の平均

●これまでのところ、今期の漁場水温はほぼ平年並みで推移している。

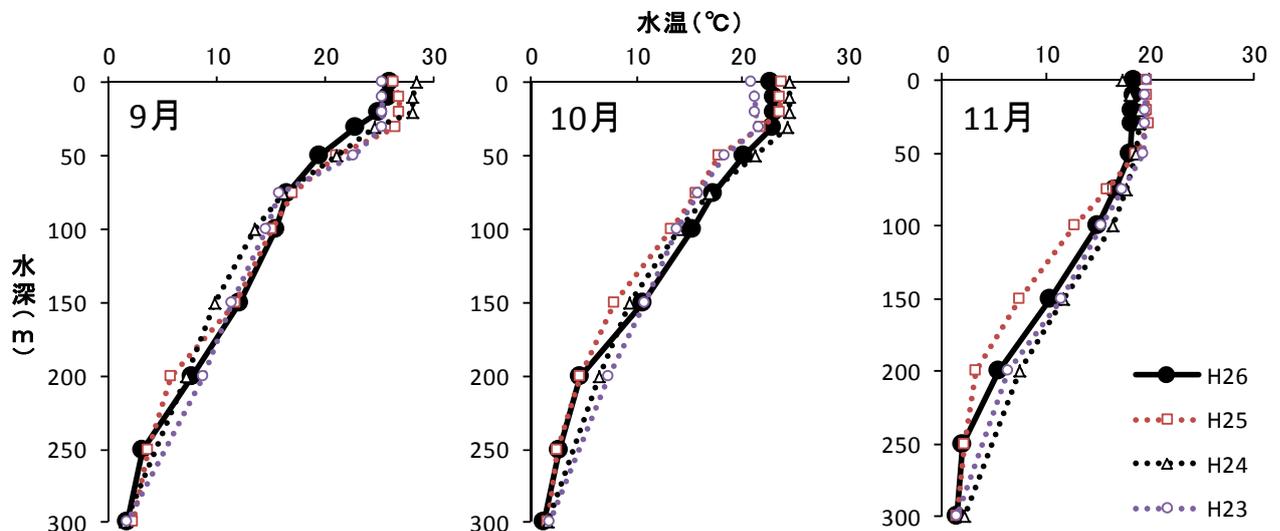


図3 入道崎沖5マイルにおける各水深の水温分布 (H23~H26 の比較)

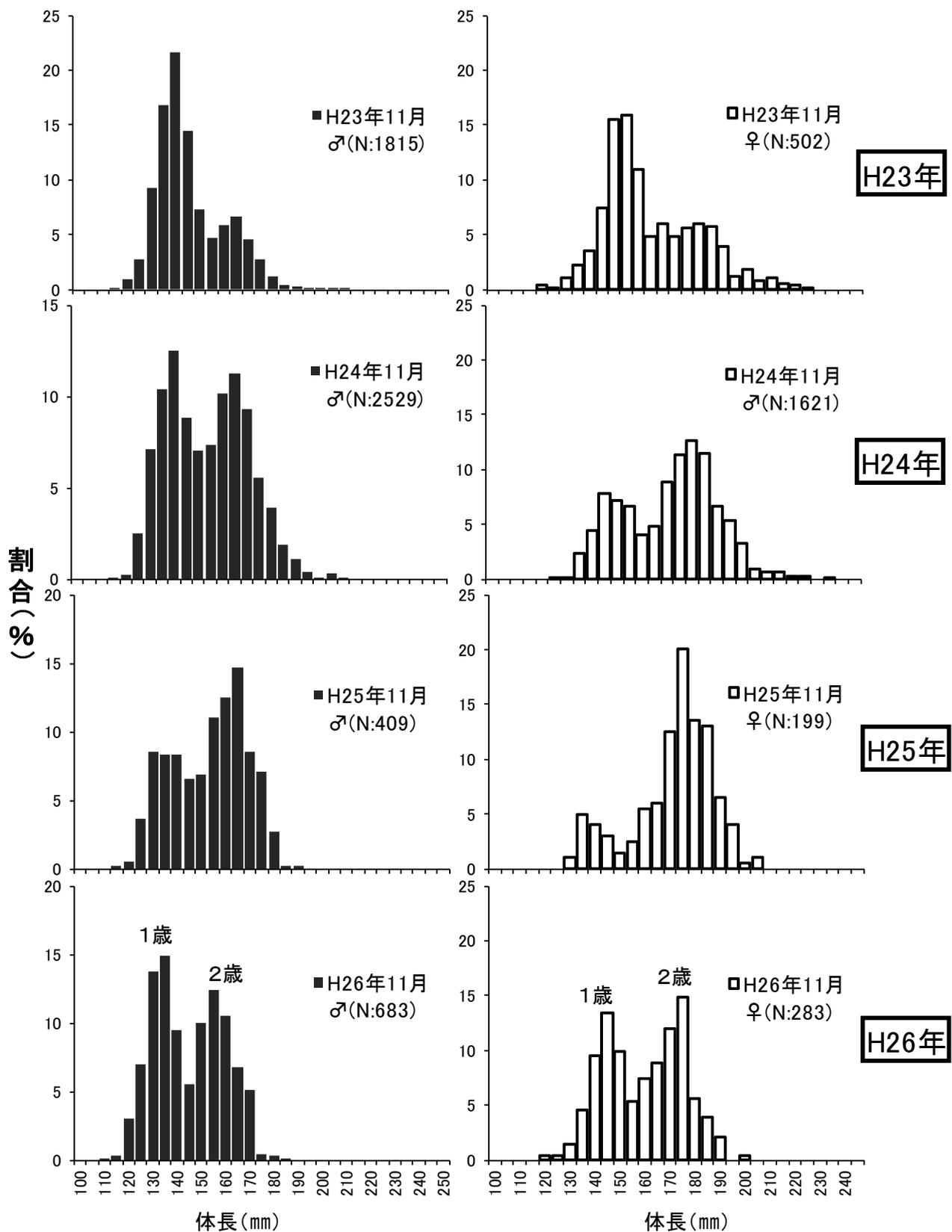


図4 11月の底びき網でのハタハタ体長組成

【今年の傾向】

- ◎今期は、10月までオス、メスともH24年生まれ(2歳)の割合が最も高かったが11月にはH25年生まれ(1歳)の割合が高まっている。
- ◎魚体は中型主体であるが、小型もかなり混じる。

【参考資料 1】

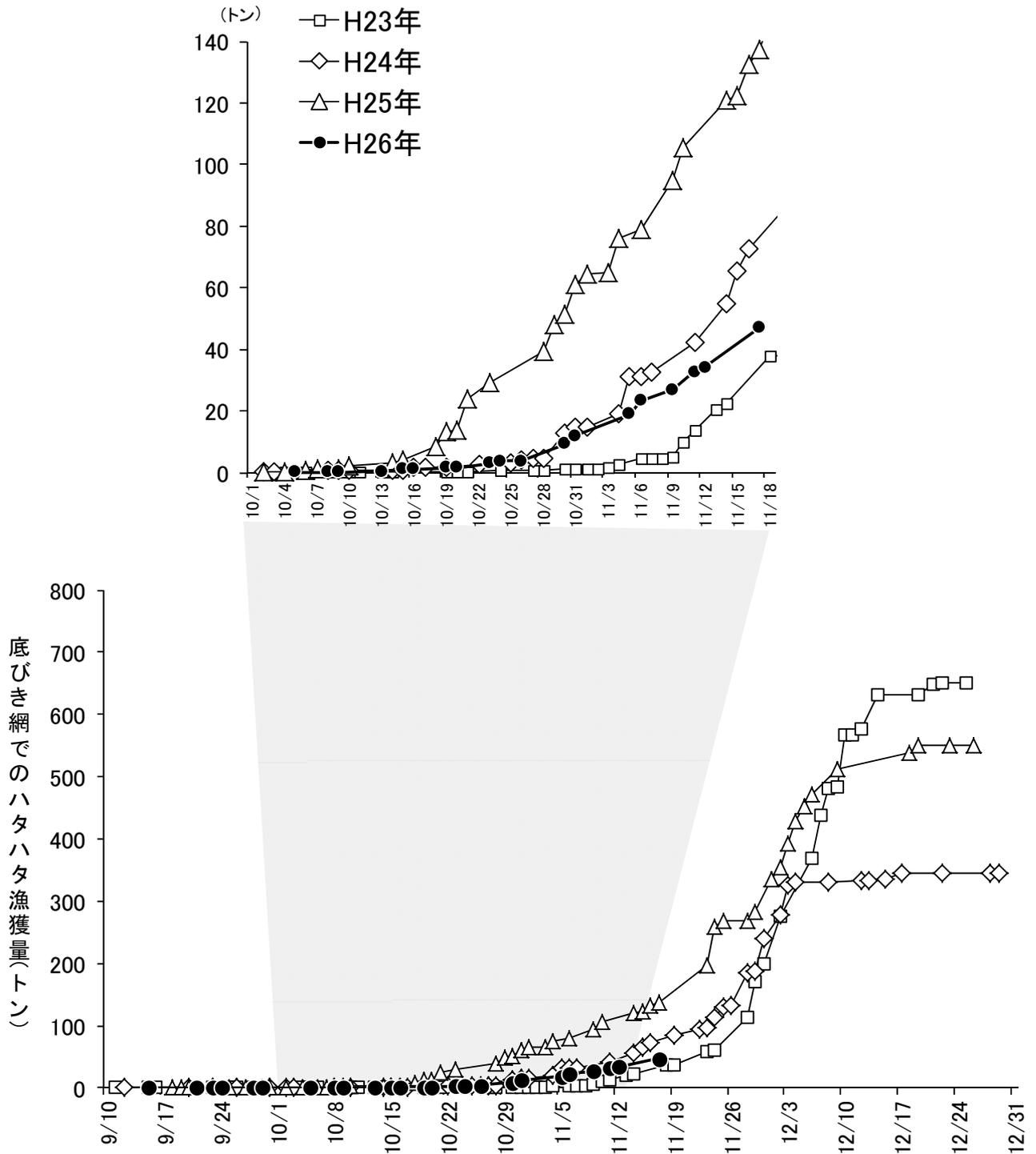


図 底びき網でのハタハタ漁獲量の推移(累積値)
(上;10月1日~11月18日、下;9月10日~12月31日)

【今年の傾向】

- ◎ 昨年は10月上旬に戸賀沖に漁場が形成され、11月にかけてまとまった漁獲が続いたのに対し、今漁期は11月まで全県的に低調に推移している。
- ◎ 今漁期の11月17日現在の漁獲量は約47トで、H25年漁期(137ト)に比べて少なく、低調に推移している。

【参考資料 2】

図はすべて日本海海況予報システム JADE より引用(<http://jade.dc.affrc.go.jp/jade/>)

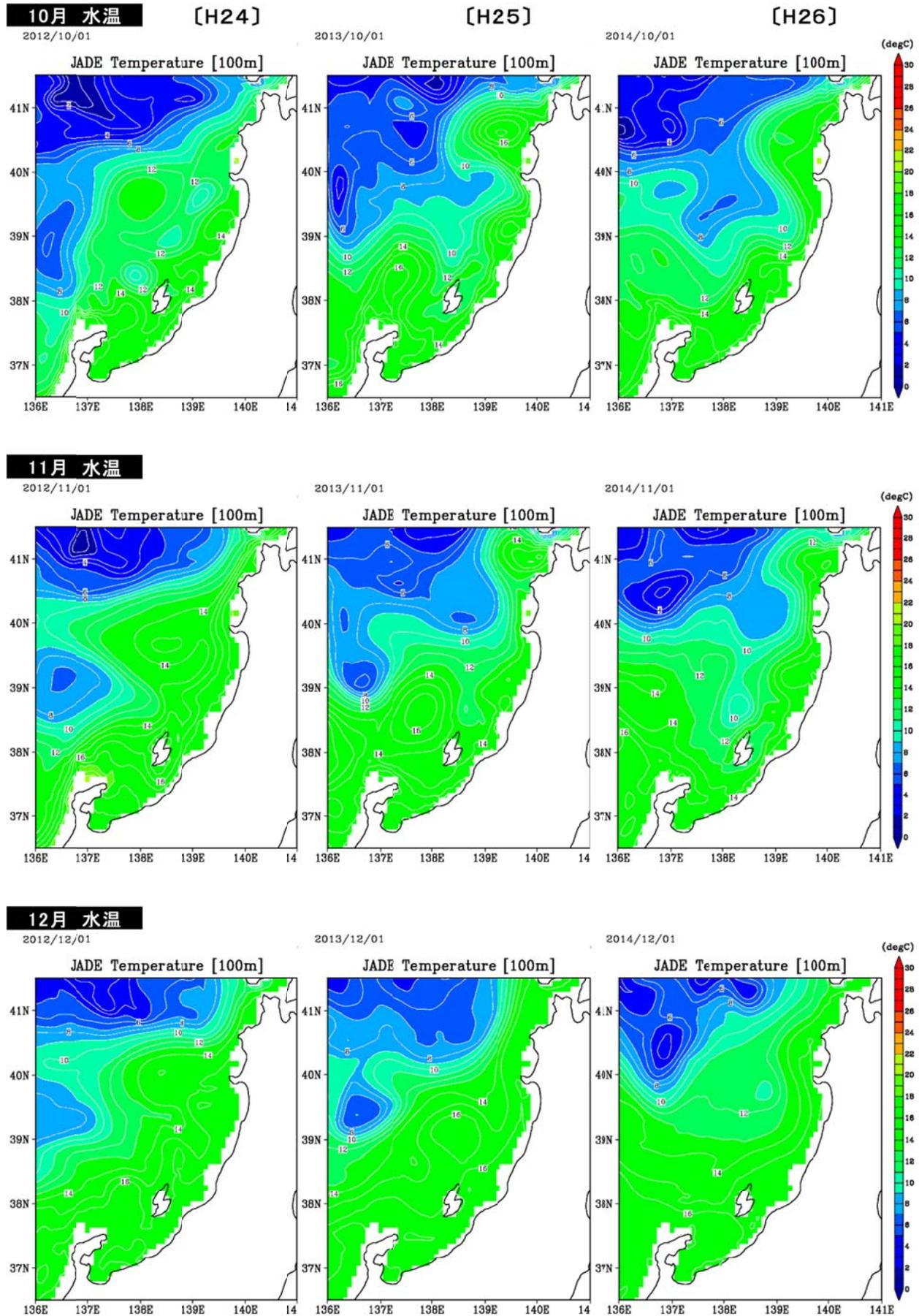


図 H24 年(左)、H25 年(中)、H26 年(右)の水深 100m 帯の水温分布(H26 年 12 月は予想図)

●今後の沿岸水温は、接岸を妨げるほど高くなる可能性は低い。

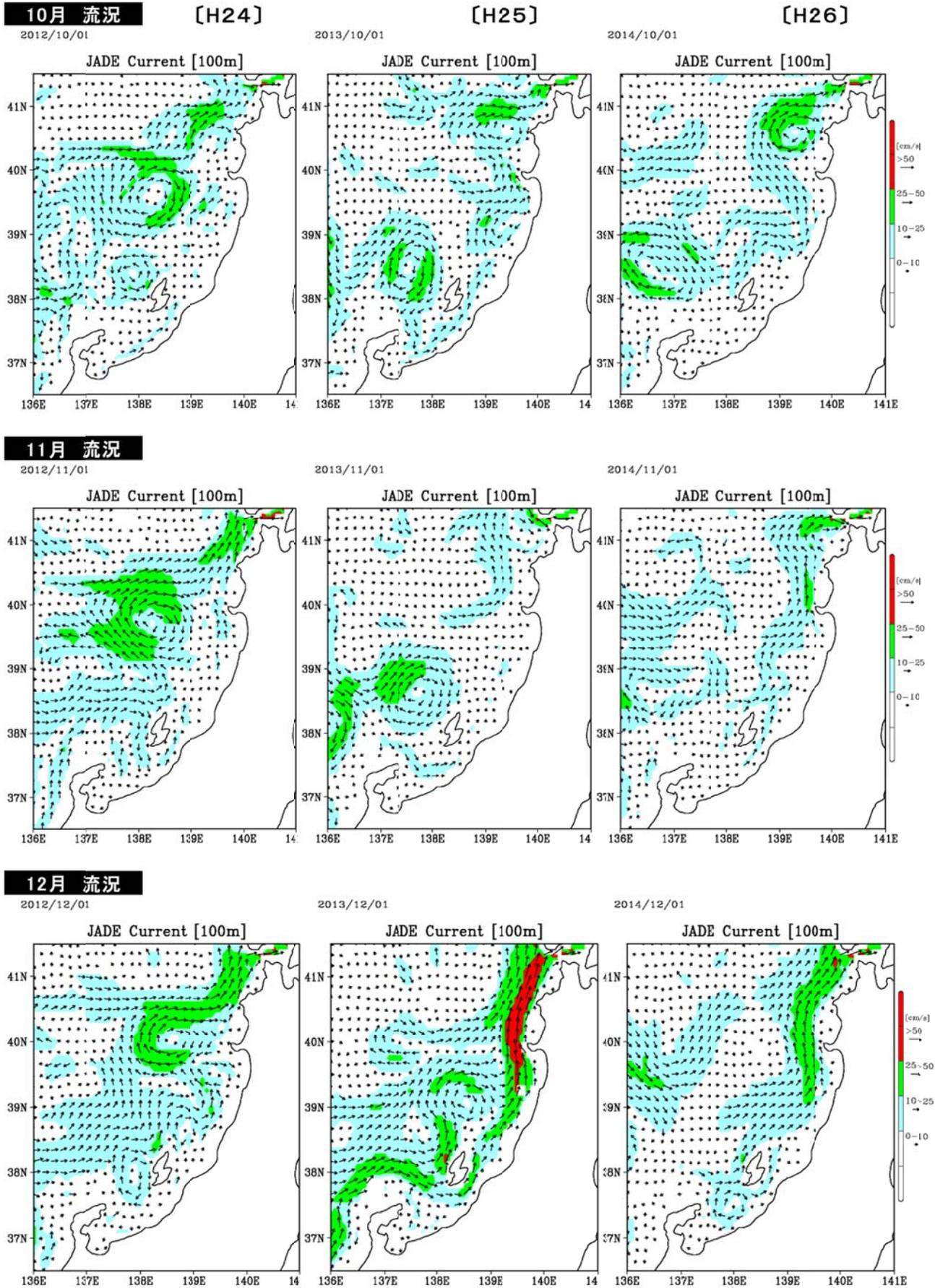


図 H24年(左)、H25年(中)、H26年(右)の水深100m帯の流向・流速(H26年12月は予想図)

●今年12月始めの流況は、昨年同様、男鹿半島沖の北上流がやや強いと予想されている。